



2016年12月14日

全国の会員企業向け講習会「第1回地盤技術品質講習会」を開催 ～地盤調査の品質向上へ、情報共有やグループディスカッションを実施～

住宅業界全体の品質向上を目指す一般社団法人 全国住宅技術品質協会（代表理事：斉藤 武司、以下「全住品」）は、全国の会員企業に所属する技術責任者や調査・工事責任者を対象とした講習会「第1回地盤技術品質講習会」を2016年11月に全国7都市で開催、地盤調査のさらなる品質向上に取り組んでいます。

全住品の調査委員会（委員長：西村 祥久）および工事委員会（委員長：山口喜廣）が主催する「地盤技術品質講習会」は、両委員会の前身である「ジャパン会」が全国の地盤調査・工事会社を対象に「安全会議」として行っていたもので、本年7月の全住品設立に伴い、「地盤技術品質講習会」としてリニューアルしました。昨今、多発する自然災害や、地盤改良工事等の施工不良問題などにより、住宅市場における地盤調査の重要性が改めて脚光を浴びる中で、改めて業界全体での品質・技術の向上、ならびに行政や関連団体との効率的な連携によるさらなる安全・安心確保に貢献すべく、内容も新たに今回が初の開催となりました。

全国7会場（11/9 東京、11/10 仙台、11/11 札幌、11/15 名古屋、11/16 大阪、11/17 岡山、11/18 福岡）で開催された講習会には、のべ129社161人が参加しました。

講習は、3部構成、約3時間半に及ぶ内容となっており、第1部では、「個人情報の管理」や「問題発生時の連絡体制の在り方について、ケーススタディを交えながら情報共有を行ったほか、地盤調査の現場での労働災害事例なども共有し、安心・安全な地盤調査のための認識を再度確認し合いました。

第2部では、近年、あらゆる業界で求められている「トレーサビリティ」を住宅地盤業界においてどのように対応していくべきかについて、「施工計画」や「データ処理」「品質管理」など、具体例を挙げながら学びました。

さらに、第3部では、それまでの講習で学んだことを活かしつつ、「個人情報の取り扱いについて」をテーマに、グループに分かれてのディスカッションを行いました。

講習会は今後、品質向上のために重要なテーマについて、全国の会場で定期的開催していく予定です。

全住品では今後も、地盤調査・工事の品質向上のため、会員企業と共に日々向上を目指し、安全・安心な住まいづくりをサポートしていきます。



グループディスカッションの様子（東京会場）

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 全国住宅技術品質協会（<http://www.zenju-hin.or.jp/>）
事務局：東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F ジャパンホームシールド株式会社内
担当：事務局 成田 TEL. 03-5624-1546

<ご参考>

■「第1回地盤技術品質講習会」プログラム

	内容
第一部	・ 個人情報の管理について ・ 労働災害事例の報告
第二部	・ トレーサビリティへの対応 ・ GeoWeb 導入による業務改善事例 ・ 安全パトロール報告
第三部	・ グループディスカッション（個人情報の取り扱いについて）

■開催スケジュール

- 11月9日（水）関東・東京会場（エッサム神田ホール 1号館 3F 大会議室）
- 11月10日（木）東北・仙台会場（仙都会館 5A 会議室）
- 11月11日（金）北海道・札幌会場（ジャパンホームシールド 北海道支店）
- 11月15日（火）中部・名古屋会場（IMY ホール 3階会議室）
- 11月16日（水）関西・大阪会場（新大阪丸ビル新館 6F 609号室）
- 11月17日（木）中四国・岡山会場（岡山シティホテル厚生町 211 会議室）
- 11月18日（金）九州・福岡会場（深見ビル 1FD 会議室）

【一般社団法人 全国住宅技術品質協会について】

住宅建築に起因する不具合の撲滅や、安全衛生・品質確保に向けた研鑽・研究、また行政や関連団体との効率的な連携により、住宅の安全・安心を追求し続ける団体として、住宅業界全体の発展に寄与することを目的に2016年7月1日に設立されました。

地盤調査、補強工事、建物検査、測量について、以下の事業を行います。

- (1) 技術品質向上への研究・教育に関する事業
- (2) 必要な知識・情報の交換に関する事業
- (3) 関連団体（行政含む）との研究、連携、情報交換に関する事業
- (4) 安全衛生に関する事業
- (5) 本法人の事業活動に関する広報等の事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業